

性判別精液を活用した

「後継牛安定確保対策事業」

が始まりました！！

後継牛安定確保対策事業とは？

○前年度に引き続き組合独自の生乳生産基盤を維持・強化するため、効率的に後継牛を確保するための手段として、性判別精液を活用し、日々生乳生産に取り組む組合員さんを支援いたします。尚、この事業は平成26年度迄継続を予定しております。

事業内容

- ① 交配対象牛は受胎率を考慮し、未経産牛を推奨します。
- ② 実績報告

人工授精を行った雌牛の個体識別番号を授精状況（未経産・経産の区分、授精者名、性判別精液名、授精日）を専用紙（別途配付いたします）にて報告するものとし、その際には授精伝票の写しと使用済精液ストローを添付して下さい。

実績の報告については、上半期と下半期に分けて報告するものとし、上半期（4月1日～9月30日の交配）は10月末までとし、下半期（10月1日～3月31日の交配）は4月末までに報告して下さい。

助成について

- 性判別精液の交配に対して助成するものとし、事業実施期間終了後に交配頭数を集計し授精1回当たりの助成単価を決定いたします。本事業予算額は10,000,000円です。
- 助成金は授精1回あたり性判別精液価格の50%以内とし、1戸あたりの助成限度額は、100,000円とします。つまり…

期間内に人工授精を行った 対象性判別精液総額の50%

もしくは

100,000円 のどちらか、低い方が助成対象額となります。（前年同様）

○助成金の交付は事業終了後の平成26年5月予定となります。

事業対象期間

平成25年4月1日～平成26年3月31日までを交配対象期間とします。

対象とする判別精液

対象となる性判別精液は原則として組合を通じ供給された精液とし、体型及び産乳能力の改良度が高く、長命連産効果指数の高いもの、また未経産牛への交配を考慮し、分娩難易度の低いものを多めに選定し、次のとおりとなっております。

略号&愛称	価格(税込)	略号&愛称	価格(税込)
JP5H54423X ジャムナ	7,140	777H5678 マリタイム	6,510
JP5H54028X トップガン	7,140	777H2366 マイティ P	6,510
JP5H53562X ランカスター	9,240	529H13568 ミラード	9,240
JP5H53414X トレジャー	7,140	529H13536 プレンティス	7,140
JP4H54771X ソルデュ	6,300	511H10017 R2	10,290
JP4H53508X ミラクルJ	7,350	507H10506 アットウッド	10,290
JP4H53351X モンブラン	7,350	501H8784 フレディー	9,240
JP3H53999X スパークリング	9,240		
JP3H53998X スプラッシュ	6,090		
JP3H53655X ジアンビ	7,140		

※ 各A1事業体とも新しい公表・在庫状況に合わせて順次追加していく予定です。

事業の流れ



その他

- ① ホルスタイン種で個体識別の耳標を装着している牛で、未経産を推奨します（経産牛も可）。
- ② 事業期間中、対象とした性判別精液を交配した場合に対して助成します。
- ③ 組合を通じた性判別精液を対象としますが、預託している乳牛に対しても組合で対象とした性判別精液を交配した場合には対象とします。